

100mm

C'

100mm

B'

97mm (内側に折り込む面)

A'



お財布と、体に優しい暮らしの知恵

雨で革靴が濡れても何もせずにほったらかし…という方

濡れたままで革靴を放置すると革が劣化しますし、状態や環境によってはカビが生えてきます。一度生えたカビは根まで除去するのは困難です。そこで、革靴に適した防水スプレーとその使い方をご紹介します。

防水スプレーの種類

その前に、スプレーの種類について知っておきましょう。防水スプレーにはフッ素系とシリコン系の2種類あります。何が違うのでしょうか？

【フッ素系】

革の繊維の一本一本に水の分子よりも細かいフッ素樹脂を浸透させて撥水させます。通気性が良く、革の風合いを損なうことなく防水できます。即効性が低いので繰り返し使うことで撥水効果を上げます。

カビの原因にもなりますね。フッ素系の防水スプレーはスームスレーザ(つるつとした革)やスエード、ヌバックにも使っています。商品によっては革の撥水性を高めつつ、栄養も与えるという優れた防水スプレーも！お店で探してみてください。

こうなると、いくら革に栄養を入れてお手入れしても元の状態にはなかなか戻りません。防水スプレー購入時は種類をちゃんと確認してくださいね。



【シリコン系】

表面に皮膜を作って革の繊維の隙間を埋めることにより、水を浸透しないようにします。表面をコーティングするので即効性はありますが、通気性が失われてしまいます。通気性が失われると革が劣化する恐れがあります。

靴にフッ素系の防水スプレーをおすすめする一番の理由は革の通気性を保つことができるからです。通気性が悪くなると革が劣化して、ひどくなるとひび割れを起こすこともあります。

スームスレーザにシリコン系の防水スプレーをかけ続けると、革の劣化が進みます。表面が硬くなってパサパサ、ギンギシ。酷くなるとひび割れを起こします。



私、登田が通う剣道の師匠に、日ごろ子供達へお話ししている徒然を書いて頂いています。

「剣は心なり」剣道の姿は人間性そのものである。ということですが、これは先人が剣術を剣道に精華し、教育・人間形成の道とした事に由来するものでしょうか、書道にも「心正しければすなわち筆正し」といった言葉があるようです。特に見聞されたわけではありませんが、他の競技や稽古事にもこうした標語があるのではないのでしょうか。

「剣は心なり」剣道の姿は人間性そのものである。ということですが、これは先人が剣術を剣道に精華し、教育・人間形成の道とした事に由来するものでしょうか、書道にも「心正しければすなわち筆正し」といった言葉があるようです。特に見聞されたわけではありませんが、他の競技や稽古事にもこうした標語があるのではないのでしょうか。

取得しただけでも制限時間を迎えれば勝つことができます。H子の稽古はいつも相手に真つすぐに向かっていきます。先月の大会でも変わらぬ姿です。前へ前へと相手に、そして自分に真正面から向かい続ける見事な内容で優勝をたたえました。少々大袈裟になりますが、H子のような明るく、素直で強い「人」が今の日本に求められている。「人財」ではないでしょうか。

見学をご希望の方はご連絡ください。副館長 浅川 正堂

雙柳館 浅川道場
岐阜市前一色 2-2-10
お問い合わせは
058-247-3676

稽古の様子や開催場所についてはコチラ



カラダすっきり! 健康サプリ

皮まで食べられるぶどうって農薬って大丈夫? の巻



海外のぶどうで皮ごと食べられるものが、スーパーでも安く売られています。でも、見ると皮の部分が白くなっています。『これって農薬?!』皮ごと食べられるのはいいけど、農薬とかどうなのかな? 気になったので調べてみました。

まず、海外ではぶどうは皮ごと食べる習慣があるようです。それは海外のものは日本のとは違い、むきにくいからなのです。だから自然と食べる文化に

なったようですね。反して日本のものはむきやすいため、皮を食べない文化が浸透したようです。農薬ですが、海外の方がむしろ農薬の使用が低いです。というのも、皮まで食べる文化があるため、残留農薬に対するチェックがとても厳しい! さらに輸入される際にも検査がありますが、ほとんど検出されていないようです。また使われている農薬も水溶性のものなので、水洗いすればほとんど落ちて

しまうようです。またぶどうなどについている【白い粉】はブルームとよばれ、ぶどうからでてくる天然成分。均等についてるほど、美味しいぶどうという証拠で新鮮な証拠でもあるようです。水分の蒸発を防いでくれる働きもあるので、保存するならすぐ洗ってしまうわず、食べる直前に洗い流しましょう。全く農薬とは違うもので、むしろ美味しい証拠でした。

雙柳館 浅川道場
館長 浅川 裕 茲

